

HKEY



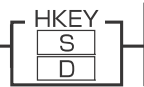
16キー入力

16キーデータを時分割で読み込み
コントロールリレーに格納します。

ラダープログラム



入力方法



HKEY S D

オペランド	使用可能デバイス																	インデックス 修飾		
	ビットデバイス							ワードデバイス							定数	間接指定	ローカル デバイス			
	R	(DR)	MR LR (B)	T	C	CTC	CR	DM TM (W)	EM FM (ZF)	T	C	CTH	CTC	Z	CM	＃/\$	＃TM		*	@
S	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

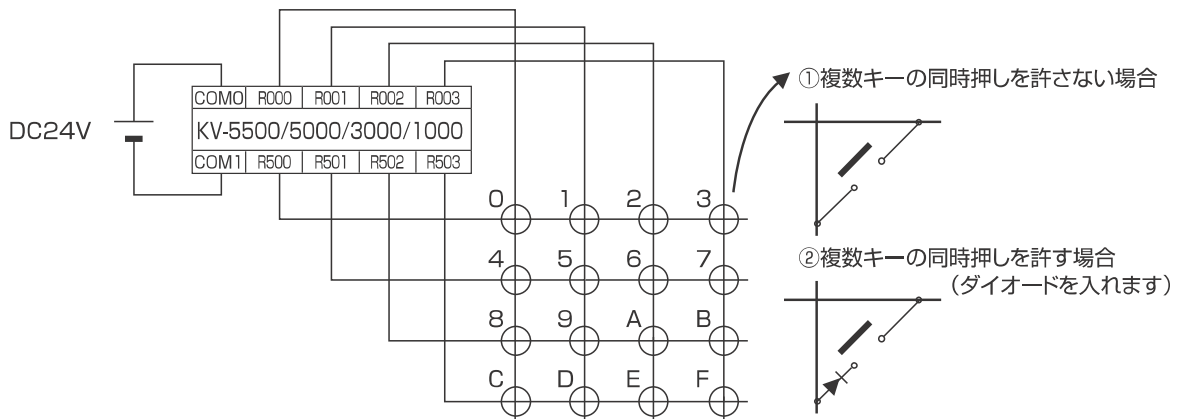
(): KV-1000は対応していません

オペランド	説明
S	読み込みを行う入力リレーの先頭デバイスを指定します。*1
D	読み込みのタイミング出力をする出力リレーの先頭デバイスを指定します。*1

*1 連続する4ビットを占有します。チャンネルをまたがっても正しく動作します。

動作説明

- 実行条件がONのとき、 S で指定した4ビットの情報を4回に時分割 (D → D +1 → D +2 → D +3の順にON)して取り込みます。(処理には8スキャン必要です。)
- 取り込んだ情報はコントロールリレー (CR3600～CR3615) に格納します。



HKEY命令は、入力したキーと対応した特殊補助リレー (CR3600～CR3615) をONします。

リレー番号	CR3600	CR3601	CR3602	CR3603	CR3604	CR3605	CR3606	CR3607	CR3608	CR3609	CR3610	CR3611	CR3612	CR3613	CR3614	CR3615
対応キー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

特殊補助リレーの状況により、複数キーの許可や禁止、キー読み込み終了のタイミングが変わります。

リレー番号	CR3514(書き込み、読み出し可能)	CR3515(読み出し専用)
内容	ONのとき、複数キーの入力を禁止します	キーの読み込み終了時にONします。

参考

- HKEY命令は、スキャンタイムごとに出力をON/OFFさせるため、トランジスタ出力のユニットを使用してください。
- 入力時定数 < スキャンタイムとなるように設定してください。

！ポイント

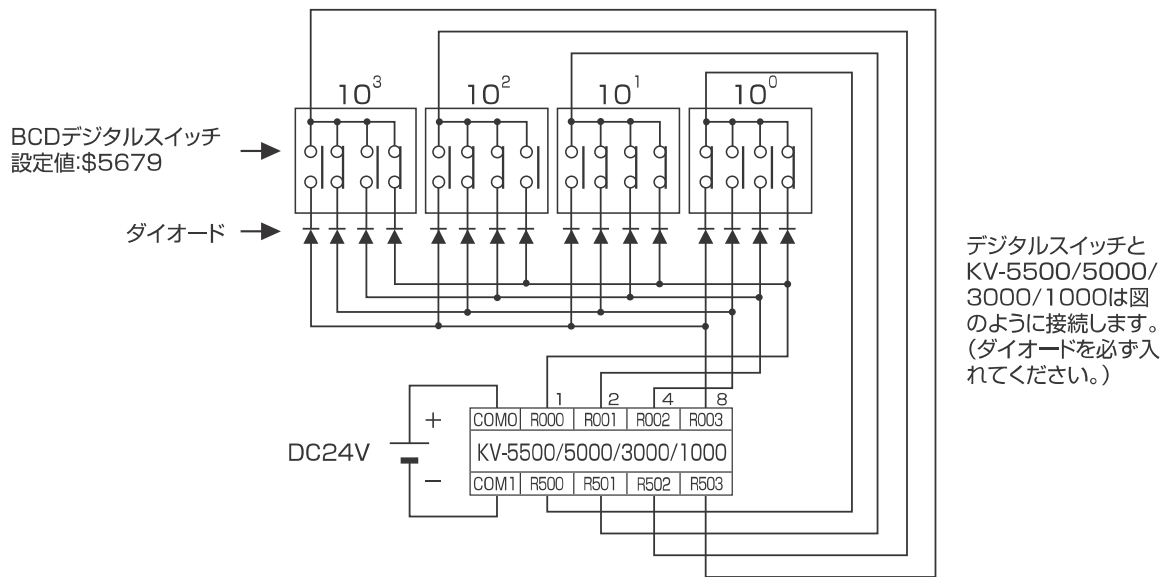
- スキャンタイムが10ms/回以下のときでも処理時間は、最低約80msかかります。
- スキャンタイムが200msを超えると命令実行を中止します。
- KLシリーズに割りついたリレーを指定するときは、『KV-7500/7300/5500/5000/3000/1000のスキャンタイム>KLの通信サイクルタイム』にしてください。CPUのスキャンタイムは一定スキャンタイムで設定可能です。
- HKEY命令はプログラム中に1回しか使用できません。
- 割り込みプログラムおよび初期化モジュール内では使用できません。

演算フラグ

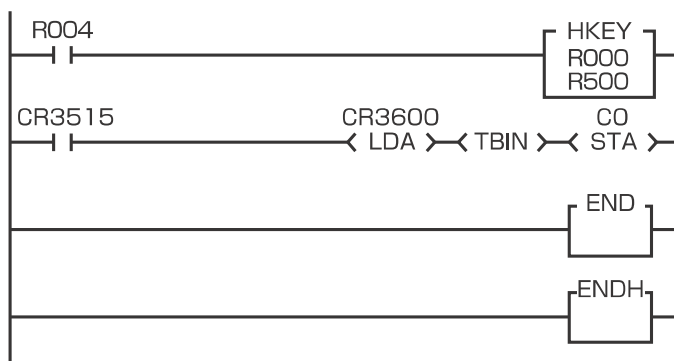
CR2009	変化なし
CR2010	変化なし
CR2011	変化なし
CR2012	変化なし

サンプルプログラム

BCDデジタルスイッチによる内部カウンタの設定値変更



入力リレーR004がONのとき、BCDデジタルスイッチの入力(16点分)を読み込み、CR3515がONすると、C0の設定値をデジタルスイッチで指定した値(5679)に変更します。



〈モニタリスト〉

```
LD R004
HKEY R000 R500
LD CR3515
LDA CR3600
CON
TBIN
CON
STA C0
```

HKEY
SEG
BCNT
DCNT
SER
DSEK
MAX
MIN
AVG
WSUM
BSUM
CRC
ZRES
EXT
BCMP
BCMPI
RND
SORT
SORTN